

令和2年6月1日

報道関係 各位

ひたちなか海浜鉄道株式会社

令和元年度（第12期）決算について（お知らせ）

標記の件について、下記のとおり決算が確定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 決算概要

- 輸送人員…106万158人（開業以来最高を記録）
- 旅客運輸収入…2億203万6千円（開業後初の2億円超えで最高を記録）
- 単年度収支…営業収入の大幅増により289万3千円の黒字（黒字額では過去最高）

輸送人員については、定期旅客は、前年度に比べ8.6%増の60万8,862人となりました。定期外旅客については、下期において、10月の台風による運休や新型コロナウイルス感染の影響により大きく落ち込みましたが、上期において、新天皇ご即位により10連休となったGWを中心に、インバウンドを含む多くの国営ひたち海浜公園来園者を輸送したほか、本県で開催された国体の特需などもあり、前年度に比べ1.1%増の45万1,296人で、定期、定期外を合わせた年間輸送人員は、前年度を5.3%上回る106万158人となり、開業以来最高を記録しました。

旅客運輸収入については、定期旅客の増加により2億203万6千円で、開業後初めて2億円を超えました。運輸雑収入を含む営業収入全体では2億7,256万5千円となりました。

営業費については、経費全般について節減に努めましたが、踏切障害事故等の車両修繕や老朽化した駅舎の修繕費が発生し、営業費全体では、前年度に比べ497万8千円増の3億1,345万1千円となりました。

その結果、営業損失は4,088万6千円、営業外損益を含む経常損失は3,988万5千円となり、国・県・市からの補助金等の特別損益により、税引き後の当期純利益は、289万3千円となり、黒字額としては過去最高となりました。

しかし、前年度末からの新型コロナウイルス感染の影響により、1年で最も利用客が多い4・5月において国営ひたち海浜公園が臨時休園するほか、夏までの集客イベントの中止や県立高校の一斉休校など、これまでにない苦境に立たされています。

このため今年度は、新型コロナウイルスの感染防止を徹底し、終息後の乗客獲得に向けて、行政・地域・関係各団体との連携をより一層強化するとともに、第3期設備

投資計画（計画期間：平成30年度～34年度）に基づき、車両・設備の適切な維持管理を行い、安全で安心な運行に努めてまいります。

なお、5名の取締役のうち3名が任期満了により退任し、1名が新任となりました。代表取締役を含む2名の取締役は重任となりました。

2. 輸送人員

(単位：人)

	定期旅客			定期外旅客	合 計
	通勤定期	通学定期	定期計		
30年度	186,730	373,890	560,620	446,518	1,007,138
元年度	212,728	396,134	608,862	451,296	1,060,158
対前年度比	113.9%	105.9%	108.6%	101.1%	105.3%

3. 営業収入

(単位：千円)

	定期旅客			定期外 旅客	旅客運輸 収入合計	運輸雑収	営業収益 合 計
	通勤定期	通学定期	定期計				
30年度	31,614	46,173	77,787	120,139	197,926	55,981	253,907
元年度	35,799	48,514	84,313	117,723	202,036	70,529	272,565
対前年度比	113.2%	105.1%	108.4%	98.0%	102.1%	126.0%	107.3%

4. 収 支

(単位：千円)

科 目	元年度	30年度	増減
鉄道事業営業損益			
営業収益	272,565	253,907	18,658
営業費	313,451	308,473	4,978
全事業営業損益	△40,886	△54,566	13,680
営業外収益	1,001	1,697	△696
営業外費用	0	0	0
経常損益	△39,885	△52,869	12,984
特別利益	134,297	72,375	61,922
特別損失	90,204	20,784	69,420
税引前当期純損益	4,208	△1,278	5,486
法人税、住民税及び事業税	1,315	335	980
当期純損益	2,893	△1,613	4,506

お問い合わせ先 … ひたちなか海浜鉄道 吉田、中山
電話 029-262-2361